



令和2年度川崎商工会議所事業報告の概要

I. 事業概要

1. 創立80周年記念事業

10月7日、当所にて新型コロナウイルス感染症対策を講じ、縮小・簡素化の中、「川崎商工会議所創立80周年記念式典並びに記念講演会」を役員・議員・来賓133名の参加者を得て開催。

式典後、(株)ディー・エヌ・エー 代表取締役会長 南場智子氏による「不格好経営～チームDeNAの挑戦～」と題し記念講演会を開催。

また、記念事業の一環として、「川崎ブレイブサンダース」と連携し、ユニフォームデザインコンテスト及びとどろきアリーナにて当所主催ゲームを実施。

2. 令和2年度 総会員数

総会員数は5,382件。加入267件・退会384件と、令和元年度末から117件の減。

3. 部会、分科会、委員会等事業の開催

①9部会・分科会にて、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、講演会や視察会(4回)はじめ役員会・議員会を展開。

また、初めてのWEB会員全体講演会を情報メディア部会で開催。

②委員会は、8委員会にて会議11回を開催し調査・提案・要望を実施。

③女性会では、太田総合病院の呼吸器内科部長及び感染管理認定看護師を招き、「コロナ禍の医療対応」講演会開催、支援金贈呈。また、全国・関東・県下女性会とのWEBによる活動・交流を実施。

4. 青年部設立記念式典・講演会・祝賀会

7月15日、川崎日航ホテルにて、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、縮小・簡素化の中、「記念式典・講演会・祝賀会」を会員・来賓55名の参加者を得て開催。

式典後、田中徳和復興大臣(当時)による「危機管理から復興まで、現状と取組み」と題し記念講演会を開催。

II. 提案・要望活動の積極的展開

1. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急要望

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う企業活動の縮小や政府からの休業要請等により、影響を受けている中小企業に対し、積極的な支援策全5項目を迅速に講じるよう川崎市に対して要望。

2. 川崎市予算における商工会議所事業運営に関する予算要望

令和3年度予算編成に関して、小規模企業の持続的発展を支援する事業をはじめ商工会議所事業運営経費に対し充実した予算措置に鑑みた補助金交付について要望。

3. 神奈川県予算・政策に関する要望

中小企業・小規模事業者への経営支援充実・強化を図る「地域振興事業費補助金」確保・充実要望並びにJR川崎駅南口改札の設置や臨港道路東扇島水江町線、防災・減災に向けた体制整備強化及び被災企業支援要望を県下商工会議所と連携して実施。



創立80周年記念式典・記念講演会



第2・3工業分科会 輪島特別視察会



サービス業部会 勝浦・鴨川視察会



建設工業部会 京都特別視察会



青年部設立記念式典 - 1 -

4. 税制改正要望

役員報酬の定期同額給与制度の廃止やふるさと納税控除限度額の縮小等全16項目をとりまとめ、国会議員、神奈川県知事に要望。(金融・税制委員会審議)

5. 幹線道路の整備促進要望

川崎縦貫道路の早期整備について、国土交通省や地元選出国會議員、神奈川県、首都高速道路(株)に対して、コロナ禍により一部手交、一部郵送にて要望。

6. 川崎市臨海部ビジョンに関する要望

平成30年3月、川崎市策定「臨海部ビジョン」について、交通機能強化や南渡田地区を含め新産業拠点形成等の基盤整備拡充・強化に向け川崎市に対して要望。(産業政策委員会審議)

7. 京急川崎駅周辺の抜本的整備に関する要望

川崎市に対して京急川崎駅周辺の再開発計画を契機とした駅周辺全体の抜本的な整備等について、賑わい創出に向け要望。(川崎駅周辺再開発特別委員会審議)

III. 販路開拓・ビジネスマッチングの展開

1. ビジネスマッチングの実施

新型コロナウイルス感染拡大により、会員交流会等は一部中止を余儀なくされたが、関係機関と連携してオンライン会議ツール等を活用し、広域商工会議所連携による受発注商談会3回、県下商工会議所ビジネス交流会1回による商談機会を提供。

2. 名産品認定とBuyかわさきキャンペーン

和菓子、洋菓子、工芸品など全113件の「かわさき名産品」を市・観光協会と連携し、市内外に宣伝するとともに、コロナ禍でイベント出展が中止となり、新たに「スタンプラリー de Buyかわさきフェスティバル」を企画、市内33店舗が参加し、共同販売促進活動を実施。

3. 川崎ものづくりブランド推進事業

市内中小製造業の優れた製品や技術を発掘、「川崎ものづくりブランド」として8製品を認定し合計で106件。オンライン展示会出展等を活用しコロナ禍に対応した販路開拓や新市場創出を支援。



スタンプラリー de Buyかわさきフェスティバル



川崎ものづくりブランド認定式



令和2年度川崎商工会議所事業報告の概要

IV. 中小企業の経営基盤の強化支援と地域活性化の推進

1. 経営改善普及事業の推進

- ①「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を設置、新型コロナウイルス感染拡大によって影響を受けている市内中小企業・小規模企業の経営を全面的に支援。
- ②働き方改革関連法、税制、民法改正をはじめ国の諸制度改正に伴う対策や経営力強化について、専門家派遣や講習会等を2,531件実施。
- ③経営相談指導を17,829件、専門相談員による窓口経営指導183件、巡回経営指導69件、小規模事業者持続化補助金申請の受付183件など地域に密着した支援を実施。
- ④小規模事業者経営改善資金(マル経)推薦 303件 21億990万円(内、コロナマル経 246件 15億3,640万円)など資金繰り支援を実施。

2. 中小企業の事業承継支援

当所が川崎信用金庫、川崎市産業振興財団、川崎市と設置する「KAWASAKI事業承継市場」では、個別訪問指導(39件)やオンラインセミナーの開催等を通じ、市内事業者における事業承継問題に関する適切な助言や情報提供及びマッチング支援を実施。

また、KAWASAKI事業承継市場事例集「カワサキの事業承継」発刊。

3. 地域活性化事業の推進

市内商店街の音楽等を融合したイベントを支援するとともに、商店街のイベント企画等に「街おこし協力隊」を派遣し、地域商業の活性化を促進。

また、川崎を拠点とする川崎ブレイブサンダース、川崎フロンターレ、東芝野球部をはじめスポーツチームや文化団体等と積極的連携を図り、地域産業育成に貢献。

4. 中小企業の国際化支援

コロナ禍に対しWEBセミナーによるジェトロとの中小企業海外展開支援、外国人材支援機構との就労促進支援等、国際関係機関との連携。駐日ラオス特命全権大使の表敬来所など。貿易関係証明は3,627件発給、貿易取引の便益に供した。特に貿易証明では、オンライン発給の準備を進めた。

5. 会員事業所の福利厚生支援

会員事業所の役員・従業員を対象とした特定退職金共済(355事業所)や業務災害補償(723件)をはじめ、各種共済・保険制度を通じ全国商議所スケールメリットによる福利厚生支援を実施。特に役員、従業員等の生活を保障し事業の安定を図ることを目的に「生命共済制度」を新設。

また、市内7会場にて「巡回生活習慣病健診」を延べ23日間実施し、会員企業の事業主や従業員及びその家族931名受診。



雇用調整助成金 個別相談会



KAWASAKI事業承継市場事例集

V. 人材の育成

1. 資格検定試験の実施

ビジネス実務能力の向上を図り産業人材の育成を支援するため簿記検定やリテールマーケティング検定、ビジネス実務法務検定など全10検定を実施、延べ10,138名が受験。

特に簿記検定では、コロナ禍による受験者数制約を受けたものの、新たにネット試験を導入、多くの受験希望者に安定的に受験機会を提供。

2. 企業経営者・従業員向けセミナーの実施

雇用調整助成金やテレワーク支援、働き方改革対応をはじめ、時宜を得たテーマのセミナー・相談会を市内拠点にて年10回開催。

また、新たに会員限定658テーマを揃えWEBセミナーを配信し、3,330名利用。

3. 川崎インターンシップ事業

コロナ禍で送り出し・受け入れが限定された中、感染防止策を講じ、市内の8大学から志願学生44名、参加企業15社(会員企業)にて実施。学生に就業体験・実習の機会を提供し、就労意識の醸成を促すとともに、学生への指導を通じた参加企業の社員育成の一助とする。



雇用調整助成金セミナー



川崎インターンシップ事業

VI. 会議所活動基盤の強化

1. 部会活動の活性化

各部会・分科会にて、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、部会事業費を活用し講演会、視察会を実施し、業種ごとの活性化及び会員組織力の強化に取り組み、部会所属会員相互の経営向上に寄与。

2. 支所機能並びに巡回指導体制の強化

地域の中小・小規模企業の相談拠点としての支所では、新型コロナウイルス感染拡大による影響をはじめ中小企業・小規模事業者が直面している様々な経営課題の解決を支援するため、経営指導員を配置し、巡回指導や窓口経営相談及び国・県・市の支援情報を提供、指導。

3. 産業振興拠点としての会館運営

二度にわたる緊急事態宣言を受け、コロナ禍の影響を余儀なくされたものの、主に社内会議及び研修会場としてKCCIホール(貸会議室)を利用提供するとともに、12階パソコン教室の運営により人材育成の充実及び財政基盤の安定に寄与し、産業振興拠点としての役割を發揮。

4. 情報発信の強化

- ①新型コロナウイルスに関する経営支援情報はじめ当所事業や会員企業の情報発信、中小企業向け支援情報等について、機関誌「かいぎしよ」を年10回、各回約6,000部発行。
- ②今年度は、創立80周年記念号として10月7日号を発行するとともに、特別企画として「浅野総一郎 伝」を11月号より3ヶ月連載。
- ③当所事業や関係機関からの支援施策はじめ会員に役立つ最新情報をメールマガジンで延べ23回配信。



川崎フロンティアビル



機関誌「創立80周年記念号」